

高速道路リニューアルプロジェクトについて

高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)とは

高速道路リニューアルプロジェクトとは、高速道路の本体構造物のライフサイクルコスト(役目を終えるまでにかかる全ての費用)の最小化、予防保全(故障や不具合が生じる前に行う保全方法)および性能向上の観点から、必要かつ効果的な対策を講じることにより、高速道路ネットワーク機能を長期にわたって健全に保つために行うものです。

■大規模更新

高速道路の本体構造物を最新の技術で再施工することにより、現在の新設構造物と同等またはそれ以上の性能を確保し、機能維持と性能強化を図ります。

■大規模修繕

高速道路の本体構造物を最新の技術で補修・補強することにより、建設当初と同等またはそれ以上の性能・機能を回復するとともに、長寿命化を図ります。

事業許可および実施計画について

平成 27 年 3 月 25 日付で国土交通大臣から大規模更新・修繕事業の実施について、道路整備特別措置法に基づく許可を受けました。平成 27 年度から 15 年間で約 1 兆円規模の事業を実施していきます。

工事の実施について

工事を実施するにあたり、構造物の劣化状況や、新東名・新名神などのネットワークを考慮した工事渋滞の削減、東京オリンピックをはじめ大規模イベントなどを考慮した工事規制を計画し、関係機関と調整のうえ協議の整った工事から順次公表してまいります。

2017年度のリニューアル工事の予定

2017 年度には、下記の区間でリニューアル工事(大規模更新・修繕事業)を予定しています。橋梁の床版取替などでは、工事に伴う交通規制が長期間に及び、交通渋滞の発生が予想されます。工事内容、交通規制内容及び迂回路案内などの詳細については、WEB サイト、ポスター、リーフレット、情報板などをご確認ください。

■2017年度工事予定

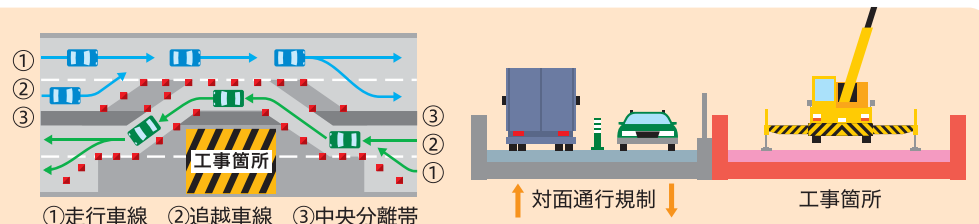
2017年秋	E19 中央道	岡谷 JCT ~ 伊北	対面通行規制
	E20 中央道	調布 IC	ランプ迂回規制
2018年冬	E8 北陸道	米原 ~ 長浜	対面通行規制
	E1 東名	沼津 ~ 富士	対面通行規制

※現在の計画であり、今後関係者との協議により変更する場合があります。



■対面通行規制のイメージ

通行止めを行わず両方向の通行を確保する対面通行規制や、ダブルネットワークの活用など可能な限り交通への影響を抑えられる工事方法を実施していきます。



より安全な高速道路をお届けするために必要な工事です。工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

「NEXCO中日本
高速道路リニューアルプロジェクト」については

<http://www.c-nexco.co.jp/koushin/>



2017年7月



NEXCO中日本

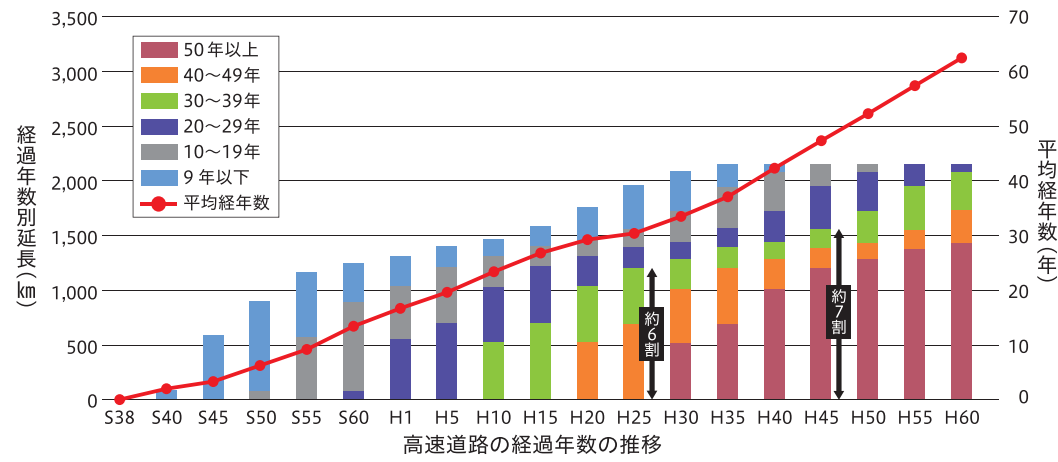
高速道路リニューアルプロジェクト 大規模更新・修繕事業



名神高速道路の全線開通から50年以上が経過した今、
高速道路を更新・修繕し、つぎの世代へつないでいくための事業を行ってまいります。
皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

NEXCO 中日本が管理する高速道路の現状

NEXCO 中日本は、東名高速道路、中央自動車道などの高速道路約2,000kmを管理しています。名神高速道路は全線開通から50年以上が経ち、供用から30年以上を経過した道路が約6割を占めるなど、老朽化が進展しています。これからは暮らしや経済を支える大動脈としての役割を果たしていくために、早期に大規模更新・修繕事業に取り組んでいく必要があります。



高速道路の老朽化の進展

経過年数の増加や厳しい使用環境により、老朽化が進展しています。

老朽化を加速させる原因

- 大型車交通の増加とともに総重量等を超過した法令違反車両の通行
- 積雪寒冷地の開通延長の増加や凍結防止剤(塩化ナトリウム)使用量の増加 など



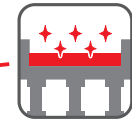
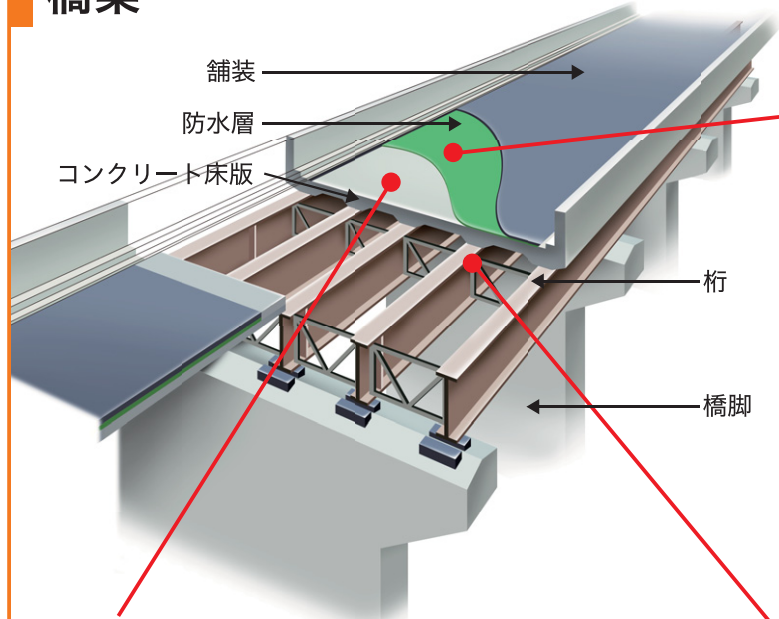
大型車交通の増加



法令違反車両の取り締まり

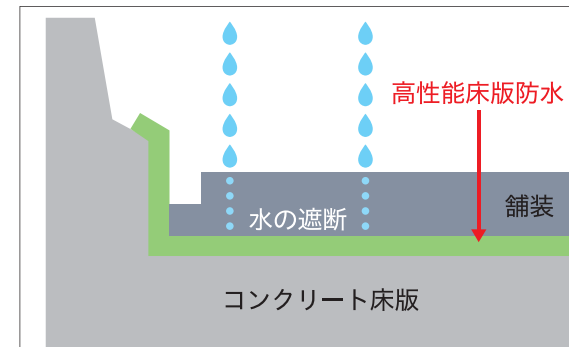
主な工事内容

橋梁



高性能床版防水の施工

水、塩化物がコンクリート床版に浸透するのを遮断し、劣化の進行を抑えるために、防水層に高性能な床版防水を施工します。

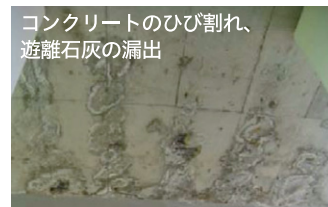


床版の取替

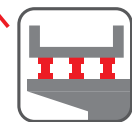
耐久性の高いコンクリート床版に取替えます。

橋梁損傷状況

コンクリートのはがれ落ち、浮き



床版取替工事のイメージ



桁補強

耐久性を高めるために、桁に補強部材を取り付けます。

補強部材の取り付け



トンネル



インバート設置

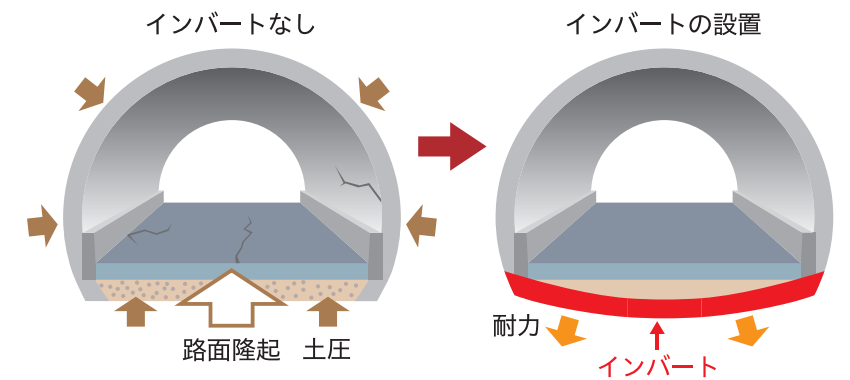
トンネル周辺の土圧に対して、安定性を向上させるために、インバートを設置します。

トンネル損傷状況

路面隆起によるひび割れ

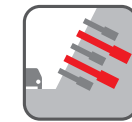


路面隆起による段差



※インバートとは、トンネル底面をコンクリートにより逆アーチに結合するもので、耐力を増加させ、沈下、変状を防止します。

土構造物



グラウンドアンカーの施工

切土のり面の長期安定性を確保するために、防食性能が高いグラウンドアンカーを施工します。

グラウンドアンカー損傷状況

緊張力を消失しているグラウンドアンカー



対策イメージ

グラウンドアンカーの増打ち



※グラウンドアンカーとは、切土のり面に働く土壌のすべり力を、緊張力を利用して安定させるものです。

